

氏名(本籍)	Mostafa Elsayed Ahmed Mohamed Shahren (エジプト・アラブ共和国)		
学位の種類	博士(工学)		
学位記番号	甲第375号		
学位授与年月日	令和3年3月18日		
学位授与の要件	学位規則第4条第1項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	Economic analysis of individual behavior and governance for stability and sustainability (安定性と持続性に資する個人・統治の経済分析)		
論文審査	(主査)	高知工科大学 教授	小谷 浩示
		高知工科大学 准教授	中川 善典
		高知工科大学 講師	矢内 勇生
		高知工科大学 特任教授	西條 辰義
		武蔵大学 教授	田中 健太

## 審査結果の要旨

### 1.論文の評価

矢内先生より、特に第二論文、第三論文に関してのデータ分析の方法改善に対する提案があった。一つは governance indicator に関してもっと個別の要素を抽出して分析出来る可能性がある事、そして、パラメータを割合で表して分析するのか、否か、の助言があった。

田中先生より、博士論文の全体的視野からの「本研究の限界と未来への展望」に関する記述を改善出来るのではないかと指摘があった。

中川先生より、第一論文に関しての generativity に対して具体例を挙げて説明する事で如何に happiness と深く関連しているのか、分かり易くなるだろうとの指摘があった。又、第三論文に関して、instability を不安定要素としてマイナスに捉えるだけでなく、柔軟性があるとプラスに捉える事も出来るのでそう云う視点から議論をする事で素晴らしいものになるだろうとの助言があった。

西條先生からは、第二論文に関してアダム・スミスの国富論と感情論との関連で、大きな将来における ISDG や Future Design の研究について Mostafa さんへの助言があった。

主に上記の様なコメントはどれも非常に前向きで建設的なものであり、Mostafa さんの最終博士論文に修正として可能な限り反映する予定である。各審査員、Mostafa さんの博士論文を博士号に値すると評価し、publications に裏付けられる様に彼の研究能力とその研究の originality も十分に認めて頂いた。よって、公開審査において「合格」として全員一致した。

### 2.審査の経過と結果

- (1) 令和3年1月6日 5名の審査委員のもと協議され、博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定した。
- (2) 令和3年2月9日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 令和3年3月1日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。